

調川小児童ミュージカルを熱演

夢と感動 ミュージカル&ミュージックステージ

夢と感動 ミュージカル&ミュージックステージ（市教育委員会主催）が11月12日、文化会館で開催されました。

同ステージでは、調川中学校3年生の合唱、Kazumaさん（岩崎和真君、志佐中3年）によるボイスパーカッションの後、調川小学校の5・6年生41人がミュージカル「調川物語 浮立の里」を公演しました。

このミュージカルは、調川に赴任してきた一人の新聞記者を主人公に、調川の歴史や民話を織り交ぜながら展開していく物語。脚本と演出は、本市星鹿町出身で劇作家の岡部耕大さんが手掛けました。

熱演する子どもたちの姿に、この日集まった約300人の観客からは惜しめない拍手が送られました。



お茶をどうぞ！

松高茶道部

松浦高校茶道部（藤崎宗武講師、柴田理恵顧問）が11月12日、特別養護老人ホーム愛光園を訪問し、お茶会を催しました。これは、同校が地域に貢献する学校を目指していることから、茶道部でも何かできないかと部長の川本七実さんが企画したものです。

この日は、まず部員6人がダンスを披露。その後、お点前をして入所者など約50人の一人一人にお茶を振る舞いました。お年寄りから声を掛けられたり、おかわりをお願いされたりするたび、部員たちはうれしそうにお年寄りとの会話を楽しんだりお茶を運んだりしていました。



まちの話題

Matsuura City Topics

潮の香りを楽しみながら

潮騒ウォーク in 星鹿

第6回松浦市健康づくりウォークラリー「潮騒ウォーク in 星鹿」（松浦市健康づくり推進協議会主催）が11月12日、開催されました。

約150人の参加者は、海コース（2.5^{キロ}）や灯台コース（7.5^{キロ}）、城山コース（10^{キロ}）にそれぞれ挑戦。城山コースでは、海岸沿いでの潮の香りや城山からの眺めを楽しみながら、秋の星鹿半島を満喫していました。



元気いっぱい全カプレー！

平田勝男杯学童軟式野球大会

第4回平田勝男杯学童軟式野球大会（松浦市軟式野球連盟・松浦少年野球クラブ父母の会主催）が11月12日、13日の両日、市民運動公園で開催されました。

今大会には、市内外から14チーム（市内から2チーム）が出場。選手たちは保護者やチームメートなどの声援を受け、熱く緊迫した試合を繰り広げました。上位の結果は次の通りです。

【優勝】 波佐見パイレーツ少年野球クラブ

【準優勝】 松浦少年野球クラブ

【3位】 楠栖少年野球クラブ、ブラックダイヤモンド少年野球クラブ



見えない災害に備えて

原子力防災訓練

長崎県原子力防災訓練が11月20日、市内各所で実施されました。

この訓練は、災害対策基本法や原子力災害特別措置法、地域防災計画などに基づくもの。防災関係機関相互の協力体制の強化と、住民の原子力防災に対する理解を図ることを目的に毎年実施されています。

今回の訓練には、市や県、警察、消防など20機関と市民約80人が参加し、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、事故の影響が及ぶ

範囲を従来の10^キから30^キに拡大して実施。災害対策本部の設置・運営や緊急被ばく医療訓練、鷹島全域からの避難を想定した海上と陸上における避難・誘導訓練など全6項目の訓練を行いました。



福島の景色を楽しみながら

わいわいフェスタ

福島一周わいわいフェスタ2011 15周年記念大会が11月20日、福島町で開催されました。

健康維持と交流を目的に、福島陸上協友会が毎年開催。この日は、約110人が参加し、福島港バス停前を発着点として福島町を一周する13.15^キのコースを、思い思いの速さで歩いたり走ったりしながらゴールを目指しました。

参加者たちは、コースの途中に見える「イロハ島」や「土谷棚田」「鷹島肥前大橋」などを楽しみながら、さわやかな汗を流しました。



思わず踊っちゃおう！

すくすくフェスタ

松浦市保育会（大内恵美子会長）が主催する子育て支援事業「すくすくフェスタ」が11月13日、きらきら21で開催されました。

同フェスタは、地域や保護者、保育所（園）が交流を深め、子育てに関する共通認識を持ち、その環境をつくることを目的として毎年開催されています。

この日は、保育士によるペープサート（紙人形劇）やゾリステン・ドライエックによるコンサートなどがありました。この日集まった親子など約160人は、身を乗り出してペープサートを鑑賞したり、コンサートでは曲に合わせて踊ったりしながら楽しい時間を過ごしました。



家族に囲まれ 100歳祝い

石川さん 100歳の誕生日

石川フジさん（志佐・西山）が11月9日、100歳の誕生日を迎えました。

石川さんは明治44年生まれで、74歳くらいまで水田に出て米作りなどをしていました。

現在は、自宅でテレビや裁縫などを楽しみ、散歩をしたり、週2回のデイサービスでのおしゃべりを楽しんだりしています。また、毎日日記をつけ、身の回りのこともできることは自分でしています。

11月14日、寺澤副市長からお祝いの言葉や花束を受けた石川さんは、「私のためにありがとうございます」とお礼を述べました。

